

子どもたちの笑顔あふれるまちに

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、3年あまり続いた新型コロナウイルスも昨年5月から季節性インフルエンザと同様の取り扱いに変わりました。観光地のにぎわいも復活し、人の流れもコロナ前に戻っているように感じています。

昨年11月、4年ぶりにNHK本部を訪れ、「立花宗茂と闇千代」の大河ドラマ実現を要望してまいりました。服部福岡県知事や竹添NHK福岡放送局長にも同行いただき、本市はもとより福岡県としての盛り上がりや熱意を伝えてきたところです。

4期目の重点施策としていた子育て支援については、地域子育て支援拠点施設「このゆびとまれ」の整備にはじまり、むつころうランドへの大型複合遊具の整備、市内公園のトイレ整備など計画的に取り組みを進めています。併せて、出産、小中学校入学といった節目の年に出産・子育て応援給付金を

支給するなどソフト面での制度充実に取り組んできたところです。今後は、子ども医療費の負担軽減についても充実させたいと考えています。

市で最初の再編小学校となる「やまと小学校」については、校舎の改修や通学路の安全対策などの整備を着実に進め、来年4月の開校を目指してまいります。

昨年8月、市民会館を解体しました。その跡地には、柳川庁舎の増築を計画しています。利便性や建設費用、現庁舎とのバランスを考慮して整備を進めます。なお、窓口サービス機能は、大和・三橋地区にそれぞれ維持し、市民サービスが低下しないようにしてまいります。

昨年は警報級の大雨や大型の台風が接近したものの、いざいざも大きな被害はありませんでした。先行排水による事前の備えや排水機場の管理人の皆さまの努力によって、災害のない柳川が維持されていることに改めて感謝を申し上げます。7月には20年ぶりに新紙幣

が発行されます。50000円札には津田梅子の肖像画が描かれますが、裏面に描かれる「野田の藤」は柳川に縁があります。大阪市福島区発祥とされる野田の藤は、江戸時代には有名な藤だったそうですが、戦火などにより消失したといわれています。約300年前、野田の藤を持ち帰り、種を植えて育てたのが、中山の大藤といわれています。

中山の大藤は、野田の藤の子孫にあたるわけです。この機会に「中山の大藤」の見事さをさらに広げてまいりたいと思っております。

元大関琴奨菊の秀ノ山親方は自身の部屋の独立を進めています。親方は「市民への恩返しのためにできることは何でも協力したい」と言っていたにいます。11月の九州場所では市内で稽古を積んで本場所に臨んでもらいたいです。秀ノ山部屋を応援し、大いに盛り上げていきたいと思えます。

結びに、市民の皆さまのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。

市民の皆さまの声に耳を傾けて

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、市議会を代表いたしまして謹んで市民の皆さまにごあいさつを申し上げます。皆さまにおかれましては、新年を穏やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

さて、長らく新型コロナウイルスの影響で、経済活動や生活環境などでさまざまな活動が制限されていたところですが、昨年5月をもって行動制限も解除されたことから、休日など市内を歩いてみますと本市を訪れる観光客も多くなり、コロナ前のにぎわいが戻ってきているように感じています。

昨今、社会、経済情勢は大きく変化し、特にエネルギー価格、物価高騰などにより、市民生活や多くの事業者の経営環境に多大な影響が生じています。このような情勢であっても、自治体は市民のニーズに応え、さまざまな行政課題の解決に努めていかなければなりません。本市においても国の財源などを活用しながら、市民の皆さまが

より暮らしやすいような対策を講じていますが、市議会といたしまして、このような政策を市民の皆さまにいち早くお届けできるような迅速な議論を行っているところです。

市議会では、昨年9月の定例会において、佐賀空港に配備される予定のオスプレイ等への対策として、「佐賀空港へのオスプレイ等の配備後の柳川市への影響に関する調査特別委員会」を設置し、現在、調査研究を行っております。この問題について、各種団体と意見交換をさせていただいておりますが、今後、この中で出ましたご意見などを踏まえて、議員間でしっかりと議論を行い、市民の皆さまの不安や疑問点などに応えていきたいと考えています。

本市では、学校再編に取り組んでおり、来年4月のやまと小学校の開校に向けて、現在の中島小学校の校舎改築やスクールバスの運行に備えた周辺道路の整備など順次進めてまいります。また、令和8年4月開校予定の蒲池地区の義務教育

学校の協議が始まったところです。この学校再編については、児童生徒の安全安心や教育環境の整備を第一に考え、市議会としても市民の皆さまのご意見を伺いながら取り組んでいきたいと考えています。

私たち市議会議員は、10月で4年の任期の折り返しを迎えます。これまでの間、議会や市政に対して市民の皆さまから貴重なご意見をいただいているところです。今後とも市民の皆さまの声に耳を傾け、私たち議員一人一人が、二元代表制の一翼を担う市議会として、その役割と責任を自覚し、自己研さんに努めるとともに、本市の課題である人口減少や少子高齢化対策、市民福祉の向上、市民の安全安心の確保のため、議員一人一人が柳川市の発展に全力を尽くす決意であります。

結びに、市民の皆さまのご活躍とご多幸、ご健勝をお祈り申し上げますとともに、本年がすばらしい1年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



柳川市議会議員 近藤 末治



柳川市長 金子 健次

